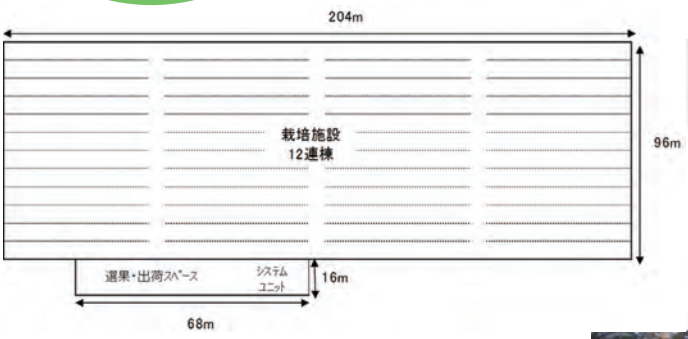
事例 6　1棟が2ha以上の大規模ハウス ②



設置状況	設置地域	東海地方	備　考
	設置年	2005 年	
	地目	畑	
	区域区分	市街化調整区域	
	農振法における取扱	農業振興地域	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	2.0ha	
	間口、奥行、連棟数	8m×204m×12 連棟	
	軒高、棟高	4.0m、4.3m	
	被覆資材	PO 系フィルム	
	基礎形状	布基礎	
	床の状態	通路にコンクリート打設	
	耐候性	耐風速 50m/s 以上	
栽培概要	栽培作物	トマト	
	栽培期間	8月～6月	
	栽培方法	長期多段栽培	
当該特定行政庁の判断	・選果・出荷スペースも含め、被覆資材が簡易に取り外し可能であるため、建築物ではない。		

事例 7

イチゴの大規模ハウス ①

設置状況	設置地域	東北地方	備　考
	設置年	2014 年	
	地目	田	
	区域区分	非線引き都市計画区域	
	農振法における取扱	農用地区域	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	0.7ha	
	間口、奥行、連棟数（棟数）	A：8m×39m× 単棟 B：8m×75m×3連棟 C：8m×69m×4連棟　（2棟）	
	軒高、棟高	3.0m、5.1m	
	被覆資材	PO系フィルム	
	基礎形状	独立基礎	
	床の状態	防草シート展張	
	耐候性	耐風速 :34m/s 耐積雪荷重 :29kg/m^2	
栽培概要	栽培作物	イチゴ	
	栽培期間	9月～6月	
	栽培方法	養液栽培、高設栽培	

事例８

イチゴの大規模ハウス ②

設置状況	設置地域	東北地方	備　考
	設置年	2014 年	
	地目	田	
	区域区分	市街化調整区域	
	農振法における取扱	農用地区域	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	1.0ha	
	間口、奥行、連棟数（棟数）	８m×99m×６連棟（２棟）	
	軒高、棟高	3.0m、5.1m	
	被覆資材	フッ素フィルム	
	基礎形状	独立基礎	
	床の状態	防草シート展張	
	耐候性	耐風速 50m/s 耐積雪荷重 50kg/m^2	
栽培概要	栽培作物	イチゴ	
	栽培期間	９月～６月	
	栽培方法	高設栽培、養液栽培	

事例 9

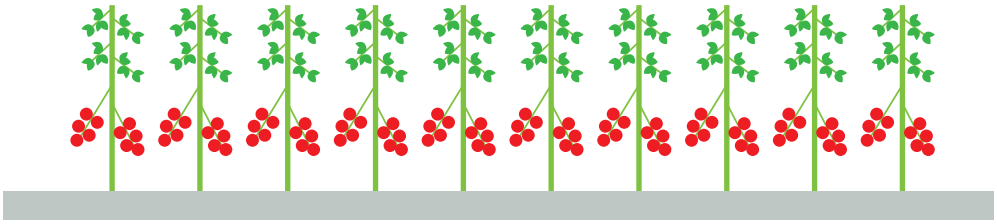
工場跡地における大規模ハウス

分析室

設置状況	設置地域	関東地方	備　考
	設置年	2010 年	
	地目	宅地	
	区域区分	市街化区域	
	農振法における取扱	農業振興区域外	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	0.9ha	
	間口、奥行、連棟数（棟数）	A：8m×32m×4連棟（3棟） B：8m×72m×9連棟	
	軒高、棟高	5.2m、6.1m	
	被覆資材	フッ素フィルム	
	基礎形状	布基礎	
	床の状態	防草シート展張	
	耐候性	耐風速 50m/s 耐積雪荷重 50kg/m^2	
栽培概要	栽培作物	トマト、パプリカ	
	栽培期間	8月～7月	
	栽培方法	長期多段栽培 養液栽培（ロックウール）	
当該特定行政庁の判断	・分析室や打合室、事務所を含む棟は建築物として整理。		

事例 10　展示・見学スペースを併設したハウス

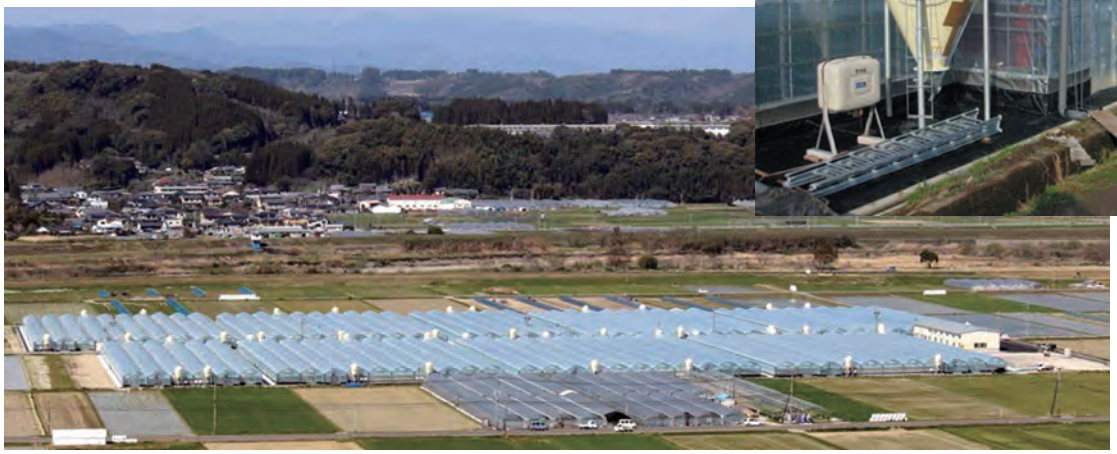
展示・見学スペース



設置状況	設置地域	中国・四国地方	備　考
	設置年	2010 年	
	地目	雑種地	
	区域区分	非線引き都市計画区域	
	農振法における取扱	農業振興区域外	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	0.7ha	
	被覆資材	フッ素フィルム	
	基礎形状	独立基礎	
	床の状態	防草シート展張	
	耐候性	耐風速 34m/s 耐積雪荷重 61kg/m^2	
	栽培作物	トマト　など	
栽培概要	栽培期間	周年	
	栽培方法	長期多段栽培（トマト）	
当該特定行政庁の判断	・栽培スペースについては、「建築物」として扱わない。 ・来場者向けの展示及び見学スペースは「建築物」として扱い、建築確認済である。 ※栽培スペースと見学スペースは隣接しているが、明確にスペースを区分できる。		

事例 11

ハウスが大規模に集積している事例



設置状況	設置地域	九州地方	備　考
	設置年	2015 年	
	地目	田	
	区域区分	都市計画区域外	
	農振法における取扱	農用地区域	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	4.1ha	
	間口、奥行、連棟数（棟数）	A：5.4m×91.5m×11 連棟（2棟） B：5.4m×91.5m×10 連棟（5棟） C：5.4m×91.5m×6連棟（2棟）	
	軒高、棟高	2.5m、3.5m	
	被覆資材	PO系フィルム	
	基礎形状	独立基礎	
	床の状態	土壌	
	耐候性	耐風速 50m/s	
栽培概要	栽培作物	きゅうり、ピーマン	
	栽培期間	9月～6月	
	栽培方法	土耕栽培	

事例 12

ハウスが大規模に集積している事例

（積雪地）

設置状況	設置地域	北陸地方	備　考
	設置年	2015 年	
	地目	山林（一部、農地、雑種地あり）	
	区域区分	都市計画区域外	
	農振法における取扱	農業振興区域外	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	4.1ha	
	間口、奥行、連棟数（棟数）	A：24m×81m、単棟（7棟） B：24m×102m、単棟（2棟） C：20m×51m、単棟（4棟） D：20m×60m、単棟（15 棟）	
	軒高、棟高	軒高：全棟 3.0m 棟高：A,B 棟 9.0m、C,D 棟 8.0m	
	被覆資材	フッ素フィルム	
	基礎形状	独立基礎	
	床の状態	防草シート展張	
	耐候性	耐風速 35m/s 耐積雪荷重 50kg/m^2	
栽培概要	栽培作物	トマト、花き	
	栽培期間	周年	
	栽培方法	長期多段栽培、養液栽培	

事例 13

積雪地における大屋根連棟ハウス

設置状況	設置地域	北陸地方	備　考
	設置年	2015 年	
	地目	雑種地	
	区域区分	非線引き都市計画区域	
	農振法における取扱	農用地区域	
調査対象ハウスの施設概要	設置面積	3.7ha	
	間口、奥行、連棟数（棟数）	A：12m×105m×10 連棟 12m×54m×６連棟 B：12m×105m×13 連棟 12m×54m×６連棟	
	軒高、棟高	4.0m、7.0m	
	被覆資材	フッ素フィルム	
	基礎形状	独立基礎	
	床の状態	防草シート展張 通路はコンクリート打設	
	耐候性	耐風速 37m/s 耐積雪荷重 26kg/m^2	
栽培概要	栽培作物	トマト	
	栽培期間	８月～６月	
	栽培方法	長期多段栽培、フィルム農法	

本事例集は、平成27年度次世代施設園芸導入加速化支援事業（全国推進事業）標準化検討専門委員会において研究者、施設園芸生産者、施設園芸メーカー、特定行政庁建築主事のご意見をいただき、それを踏まえて、農林水産省生産局園芸作物課、国土交通省住宅局建築指導課をオブザーバーとして、一般社団法人 日本施設園芸協会が作成したものです。

平成 27 年度次世代施設園芸導入加速化支援事業
（全国推進事業）事業報告書（別冊 1）
大規模園芸用プラスチックフィルムハウス設置事例集

一般社団法人 日本施設園芸協会
〒103-0004 東京都中央区東日本橋３丁目６番17号 山一ビル４階
電話 03-3667-1631　FAX 03-3667-1632